

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム 倉敷

目標達成計画

作成日：令和 5 年 4 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------------|--|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 6 (5) | スピーチロックについてさらに深めてみてはいかがでしょうか。 | 全職員がスピーチロックに対する問題意識を高め、スピーチロックゼロを目指していく。 | 言葉の言い換え表を絵にして、職員の目に入る箇所に掲示していく。全職員が理解しやすい・気付きやすい形にすることでスピーチロックゼロを目指す。 | 12ヶ月 |
| 2 | 40 (15) | 今でも十分にできていますが、さらに自作メニューに工夫を凝らしてみてもいいでしょうか。 | 自作メニューのバリエーションを増やし、入居者に喜んでいただけるメニュー作成に取り組む。 | 嗜好調査を定期的に行い、入居者の好みに合わせた自作メニューの作成に取り組む。施設の畑で採れた野菜も活用していく。 | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。